



国民春闘共闘

2024年度 第24号
2024年6月17日

国民春闘共闘委員会
〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

24年・第2回夏季一時金集計

単純平均 1.95 カ月 629,596 円

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は6月13日、2024年第2回目の夏季一時金集計を行いました。

<回答状況>

	2024年	2023年同期
回答引き出し組合	655	733
うち 妥結組合	245(37.4%)	349(47.6%)

<要求と回答内容>

集計方法&対象		2024年回答	2023年同期	同期比
単純平均	月数	1.95	1.93	0.02
	額(円)	629,596	606,785	22,811
加重平均	額(円)	596,353	596,113	240
	組合員数	114,547	108,947	

<前年実績との比較が可能な組合における金額・率の比較>

		組合数	前年実績以上	前年実績超	24年回答	23年実績	実績比
単純平均	月数	543	422(77.7%)	176(32.4%)	1.97	1.95	0.02
	金額	316	221(69.9%)	203(64.2%)	648,515	630,337	18,178

<非正規の仲間の回答状況>

		時給制	月給制	再雇用・時給制	再雇用・月給制
単純平均	月数	0.720	1.362	0.504	1.171
	前年同期	0.704	1.306	0.510	1.180
	前年実績	0.738	1.287	0.472	1.076
	額(円)	52,980	255,284	100,042	131,949
	前年同期	44,317	198,544	61,260	122,528
	前年実績	39,632	188,978	62,927	116,458

※額または率のみの報告があるため、双方は連動しません。

※言葉による回答は平均などの計算から除いています。

<集計結果の概要>

回答引き出し・妥結状況

6月13日に実施した2024年夏季一時金第2回集計には、別表の22単産・部会から回答報告が寄せられました。回答引出し組合は1879組合のうち655組合(34.9%)で、前回調査(5月30日現在)434組合(23.2%)から221組合・11.7割増加しました。前年同期(2023年6月15日時点)733組合(36.6%)と比べ78組合・1.7割下回っています。

春闘期に夏季一時金交渉を行った組合も含めて、JMITUの組合での5次回答をはじめ回答引出し組合のうち13.9%にあたる91組合が2次回答以上の上積み回答を引き出しています。前年同期100組合(13.6%)とほぼ同水準となっています。

回答引出し組合のうち妥結・収拾方向となっているのは245組合(37.4%)です。前回調査181組合(41.7%)から組合数では64組合増えましたが、妥結率では4.3%減少しました。とりわけ、日本医労連で回答引出し組合数は増えているものの妥結数が伸びていません。前年同期の349組合(47.6%)と比べ104組合・10.2割減少しており、夏季一時金闘争においても粘り強く交渉が行われていることが伺えます。

回答内容

回答月数が判明している583組合での単純平均(一組合あたりの平均)は1.95ヵ月となりました。前回調査2.00ヵ月から0.05ヵ月下がりでしたが、前年同期1.93ヵ月を0.02ヵ月上回っています。

金額回答のあった352組合での単純平均額は、前回調査から52,843円減の629,596円となりました。前年同期比では22,811円上回っています。加重平均額(組合員一人あたりの平均)は596,353円で、前回調査から64,877円減、前年同期比プラス240円となっています。

前年実績比較可能な組合を見ると、月数では543組合の単純平均で今期は1.97ヵ月と前年実績1.95ヵ月を0.02ヵ月上回っています。このうち176組合・32.4%が前年実績を上回り、246組合・45.3%が前年同月数を確保しています。金額では316組合の単純平均で648,515円と前年実績630,337円を18,178円上回り、引き上げ率は2.88%となっています。64.2%にあたる203組合が前年実績額を超える水準を獲得しています。

回答月数の単純平均を産業別に見ると、農林水産、鉱業・建設、製造、運輸・通信、マスコミ関係、その他サービスが2ヵ月以上となっている一方で、前回調査同様に卸売・小売、医療、社会福祉・介護などでは厳しい回答状況となっています。また、同一産業内でもバラツキが見られます。

パートやアルバイトなど非正規雇用で働く仲間の一時金

非正規雇用で働く仲間の一時金は、別表の10単産145組合から報告が寄せられています。

このうち、時給制労働者の一時金獲得は、生協労連68件、日本医労連54件など計147件となっています。月数報告のあった94件での単純平均は0.720ヵ月で、前回調査(5月30日現在)0.643ヵ月(82件)から0.077ヵ月増加しました。前年同期(2023年6月15日時点)0.704ヵ月(94件)、前年実績0.738ヵ月(134件)とほぼ同水準となっています。また、金額報告のあった39件の単純平均は52,980円で、前年同期44,317円(64件)、前年実績39,632円(88

件)を上回る水準で推移しています。

月給制労働者では85件の獲得となりました。単純平均月数は67件平均で1.362ヵ月となり、前年同期1.306ヵ月(63件)、前年実績1.287ヵ月(99件)を上回りました。単純平均額は25件平均255,284円で、前年同期198,544円(24件)、前年実績188,978円(45件)を5万円以上上回っています。

継続雇用者での夏季一時金獲得報告は、時給制労働者が生協労連での17件、月給制労働者が生協労連12件、出版労連7件、全印総連5件、全損保、日本医労連が各4件、JMITU、民放労連が各2件の計36件となっています。

時給制継続雇用者で月数報告のあった12件の単純平均は0.504ヵ月で、金額では3件平均100,042円となっています。

月給制継続雇用者での単純平均月数は1.171ヵ月(18件)で、単純平均額は131,949円となりました。

JMITUの組合で派遣労働者に35万円、生協労連の組合で嘱託職員469,294円、月給制再雇用者333,783円、全損保の組合で契約社員3.14ヵ月、出版労連の組合で月給制継続雇用者3.5ヵ月などの獲得報告も寄せられています。